

常任委員会・予算特別委員会分科会

※各常任委員会および各分科会に付託された議案審査ならびに予算審査の主な内容を紹介します。

総務

◆議案審査

福島市消防団員の定員、任免、服務及び給与に関する条例の一部改正

- ・消防団への加入を促進するため、入団の要件として居住者のみに限定せず、在勤者・在学者の入団を認める。
- ・消防団員の火災や大規模災害時の費用弁償について、3時間以上という支給要件を撤廃することで、消防団員の処遇改善を図る。



◆予算審査

東京2020オリンピック・パラリンピック推進事業費

- ・駅前広場や駅前通りを统一的に装飾するシティドレッシングを行うほか、スイスで柔道を学ぶ中高生を招いての交流、スイスの合唱団のコンサート開催などホストタウン交流事業を行う。カウントダウンイベントや、世界少年野球大会開催などの啓発事業等を実施により、野球・ソフトボール競技開催に向けた機運醸成を図る。

文教福祉

◆議案審査

福島市保育士等奨学資金貸付条例制定

- ・保育士等の養成施設などに修学し、将来市内の保育所などに勤務する意志を有する者に対し、一定期間保育士などとして従事した場合に返還が免除される入学および修学に必要な資金を貸し付け、その修学を支援することにより、市内における保育士などの確保を図る。



◆予算審査

意志疎通支援事業費

- ・手話言語推進事業として、手話奉仕員の派遣や手話出前講座の実施などに加え、手話通訳用タブレットの導入を図る。

経済民生

◆議案審査

福島市旧堀切邸条例の一部改正

- ・飯坂地区における主要観光施設として施設の見学や貸館、イベント開催などを行っている旧堀切邸において、さらなる施設利用と観光誘客促進を図るため地域振興および観光振興につながる物販、興行などの営利行為を可能とするなどの条例の改正を行った。



復元された旧堀切邸と周辺の町並み
(ふくしま市景観100選より)

◆予算審査

農業就業拡大推進事業費

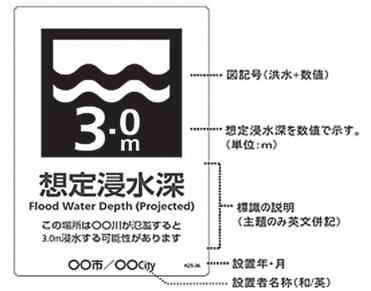
- ・農業の担い手を確保するため、兼業就農者や親元就農者などに研修費用や就農時初期費用などの一部を助成する。

建設水道

◆議案審査

(一般会計補正予算) 洪水ハザードマップ活用事業費

- ・水害の危険性の実感と迅速な避難を促すため、特に早期避難が必要な区域かつ水害履歴のある地域のまちなかに、洪水の浸水深や避難行動に関する情報を表示する標識を500カ所設置する。



浸水深標識イメージ

◆予算審査

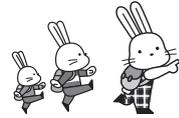
内水ハザードマップ作成事業費

- ・局地的な集中豪雨などの発生時における地域住民の自助・共助を支えるため、下水道(雨水)事業計画区域における内水浸水シミュレーションを行い、浸水想定個所や避難に関する情報を掲載した「内水ハザードマップ」を作成する。

常任委員会の活動をお知らせします

市議会では、市の事務に関する調査、検証を行っています。平成31年3月26日の本会議では、これまでの調査結果を各常任委員長が報告し、全会一致で承認されました。同日、提言書として取りまとめたものを市長へ提出しました。

委員長報告全文はこちらから



総務

調査結果

◆調査テーマ：広報政策に関する調査

(調査期間：平成30年6月～平成31年3月)

平成30年4月の中核市移行後、保健所の設置など市民生活に直結する業務が以前よりも増加し、市民へ分かりやすく効果的に情報を発信する重要性が増している状況を捉え、本市広報のさらなる改善に資するため、広報政策に関する調査を行った。

主な提言内容

- ・市民が親しみやすく、手に取ってもらえる広報誌とする事を目的とした紙面づくりと、より市民にスポットを当てた市民が参画しやすい構成とすべきである。将来的には市政だよりと市民フォトふくしま夢つうしんを統合することも、検討すべきである。
- ・シティープロモーションを広報の一つという位置づけではなく、市の課題を解決し、政策を実現するための事業として捉え、総合計画を所管する部署等において実施すべきである。

経済民生

◆調査テーマ：地域密着型プロスポーツチームとの連携による地域の活性化に関する調査

(調査期間：平成30年7月～平成31年3月)

福島ユナイテッドFCを交流人口の拡大や地域コミュニティの醸成、商工業の活性化、賑わいの創出につなげるため、地域密着型プロスポーツチームとの連携による地域の活性化に関する調査を行った。

主な提言内容

- ・地域密着型プロスポーツは、観光やスポーツ面だけではなく、教育や賑わい創出、健康増進や地域コミュニティの活性化など様々な面での連携が可能であるため、福島ユナイテッドFCを協働のパートナーとして綿密な連絡体制と信頼関係を構築すべきである。
- ・平成30年11月に設立した福島圏域連携推進協議会において、ホームタウンの参加を呼びかけ、スポーツホームタウンとしての連携について検討を進めるべきである。



建設水道

◆調査テーマ：本市の浸水対策に関する調査

(調査期間：平成30年6月～平成31年2月)

局地的な集中豪雨や大型台風に起因する大雨により、浸水被害や土砂崩れなどの大規模な自然災害が多発し、その対応が全国的に課題となっていることから、住宅地や市街地などの浸水被害の軽減を図るため、本市の浸水対策に関する調査を行った。

主な提言内容

- ・局地的な集中豪雨から市民の生活を守り、浸水被害の軽減を図るため、行政、市民、事業者などがそれぞれ主体性を持ち、一体的かつ計画的に取り組むことができる総合的な雨水計画を策定すべきである。
- ・市民が雨水に関する身近な情報を確認し、避難行動などに活用できるよう、水位計の設置個所の増設による水位情報の総合的な管理とデータの収集、分析を行い、市民に分かりやすく発信すべきである。



文教福祉

調査活動中

◆調査テーマ：小学校におけるICTを活用した学習活動の充実に関する調査

(調査期間：平成30年10月～)